



試掘調査区(TP1)遺構検出状況



試掘調査区(TP1)遺物出土状況



遺物出土状況



遺物出土状況



遺物出土状況



2条の水路跡



水路跡



水路跡の土層

平成 29 年度 明見西ポンプ場建設工事に伴う発掘調査

たけのうしろいせき  
竹ノ後遺跡

現地説明会資料



平成 29 年 9 月 15 日 (金) 午後 3 時～午後 4 時

南国市教育委員会

## 1.調査の概要

南国市上下水道局が公共下水道事業として実施する明見西ポンプ場建設の予定地が竹ノ後遺跡の範囲内であることから、試掘確認調査を行い、遺構・遺物の有無を確認しました。その結果、水路等の遺構を確認し、弥生時代終末期（約 1800 年前）を中心とする土器が多量に出土したため、工事により影響を受ける範囲について内容を記録保存するための発掘調査を実施することとなりました。

所在地：南国市明見字竹ノ後 312 番地先

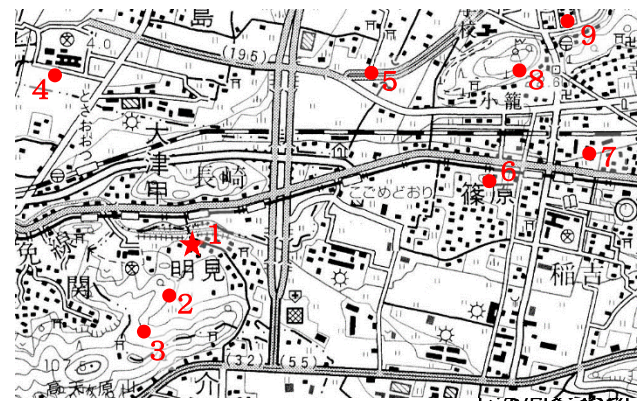
調査期間：（試掘）平成 29 年 7 月 23 日、（本発掘調査）平成 29 年 8 月 1 日～9 月末予定

調査主体：南国市教育委員会

調査面積：124 m<sup>2</sup>

## 2.竹ノ後遺跡について

竹ノ後遺跡は、土佐三大古墳の一つである明見彦山古墳群や狸岩古墳群といった多くの古墳が所在する高天ヶ原山の北東に位置します。ここは以前から遺跡（遺物の散布地）として知られていたものの本格的な発掘調査が行われたことはなく、今回初めて遺跡の内容が明らかとなりました。



1	竹ノ後遺跡
2	明見彦山1・2・3号墳
3	狸岩1・2・3号墳
4	ミトロ遺跡
5	小籠遺跡
6	若宮ノ東遺跡
7	野中廃寺跡
8	越戸1・2号墳
9	祈年遺跡

## 3.調査の成果

### (1)遺構

溝跡（水路跡）7 条・土坑 9 基・ピット 53 基

### (2)遺物

弥生土器・石器類（石包丁、磨り石、磨製石斧）・須恵器・陶磁器

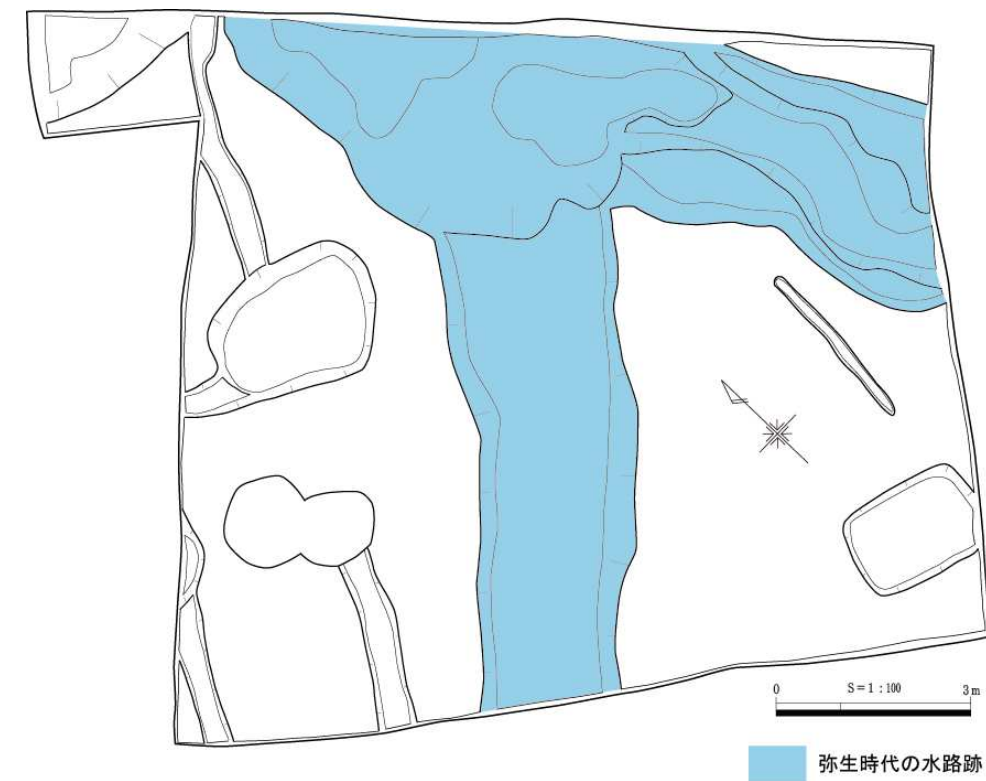
コンテナ約 50 箱分の遺物が  
出土しました



## 4.まとめ

今回の発掘調査では、2 条の水路跡から弥生時代終末期（約 1800 年前）を中心とする土器が多量に出土しました。これは明見彦山古墳群が築造された時代より 300 年程度前のものです。明見地区では、集落跡はまだ見つかっていませんが、今回発見された多量の遺物から弥生時代には近くに集落があった可能性が考えられます。今後発掘調査が進むことで、さらに地域の歴史が明らかとなっていくことが期待されます。

おわりに、発掘調査にあたりご協力いただきました関係者の皆様、そして地域の皆様に厚く御礼申し上げます。今後とも文化財調査へのご理解・ご協力をお願いいたします。



遺構配置模式図



遺構検出状況



完掘状況